

令和3年鋸南町教育委員会第2回定例会議事録

1. 日 時 令和3年2月18日（木）午後2時00分開会～午後3時14分閉会
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永安男 教育長職務代理者 山野正人
委 員 中山郁夫 委 員 篠原恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原規生 主任指導主事 桂 幸一
教育総務室長 石井 肇 生涯学習室長 笹生浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が篠原委員を指名
7. 議事録の承認 令和3年1月28日開催の第1回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者無し

9 教育長の報告

本日は2点お話しをいたします。

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案の概要です。少人数学級についてお話ししたいと思います。

現在、日本の義務教育はちょうど40年前の1980年に45人から40人学級になりました。その後、2011年には小学1年生だけ35人学級に、翌年には小学2年生までが35人学級となり、これが今の日本の義務教育における少人数学級の状況です。

この度、小学2年生から6年生までを、段階的に35人学級に編制する法律が成立しました。これは、新たな時代の到来や子供たちの多様化の進展等の状況を踏まえ、全ての子供たちの可能性を引き出す教育へ転換し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と、安全・安心な教育環境を整備するために公立の小学校の学級編制の標準を段階的に引き下げるものとなっております。

施行は令和3年4月1日からです。

小学2年生から学年を追って、5年かけての35人学級ですから、残念ながら鋸南小学校においては、現在1年生が27人しかいませんので特に大きな変更にはなりません。現在の安房管内の小学校では、35人学級に該当する学校はいくつも無いと思います。

当初、国では全学年を30人学級にしようという話もありましたが、結局は35

人学級になったようです。

2点目は、全国で進められているGIGAスクール構想ですが、何のために行うのかと申しますと、少人数学級とICT活用を両輪とした新時代の学びのためです。

1月26日に中教審から「令和の日本型学校教育」が出されました。この大きなキーワードが「個別最適な学びと協働的な学びの実現」になります。

どんどん減っていく児童生徒ですが、ひとりひとりが大事であり、個性を大切にすると同時に、その子供にあった最適な学びを模索していきましょうということです。

協働的な学びとは、学校教育だけではなく、色々な要素を取り入れながらチームワークをもって、学力向上を図りましょうということだと思います。

教員は、昔から「知徳体」と言われているように、学力向上と健やかな体を育成して、最も大事なことは徳であり、テレワークの時代になって子供が一人で学ぶことは結構ですが、一方で、教育ですからどうしても対面教育を通して身に付けていかなければならないことが多々あると思います。

この部分が徳育であり、体と知を磨いたところで一方的な子供に成長しないか、そういう子供が果たして社会で通用するのかという心配もあります。

その徳を鍛えるのは社会教育だと思っています。これまで「知徳体」の部分を学校に頼ってきましたが、学校も目一杯でありまして、知をICT教育で成長させるならば、先生方は多忙な中に置いて行かれるのではないかと思います。何れにしましても、そのような方向に進んでいくようであります。

これまでの日本型教育の優れた面を継続・継承しながら、その上に令和の日本型教育を積み上げていくことだと思っています。

しつけも学校でお願いしますというのが、どちらかというとも日本の教育だったような気がします。これからは、特にしつけの部分については、学校だけでなく家庭と地域の3者が相まって育てていかなければいけないと思っています。

義務教育がここに来て、大きく変わろうとしていますので、ご紹介をさせていただきました。

10 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

石井教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に無かった旨の報告がなされた。

(2) 各担当からの報告について

- ① 桂主任指導主事から、令和3年度の小中学校学級数等の見込みについて、新型コロナウイルス感染者等の学校等における対応について、学校の状況について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・ 中山委員から「PCR検査後の児童の体調はどうでしたか。」との質疑に対し、桂主任指導主事から「経過観察に変更も無く、体調が悪くなった児童はいませんで

した。」との答弁がなされた。

- ② 笹生生涯学習室長から、令和3年度当初予算について、安房地区社会教育振興大会について、成人者への記念誌等について、絵画の寄贈について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(意見)

- ・ 篠原委員から「来年度の資料館展覧会について、とても楽しみにしていますが、是非、子供たちを招待されて説明もしていただけると良いと思います。子供たちが鋸南の文化にふれることを、後押しするような形でお願いしたいと思います。」との意見があった。

- ③ 石井教育総務室長から、令和3年度当初予算について、千葉県教育委員会連絡協議会研修会の動画配信について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・ 中山委員から「PCBとはどのような物質で、発がん性がありますか。」との質疑に対し、

石井室長から「ポリ塩化ビフェニルという物質で、慢性的な摂取で体内に蓄積され、中毒症状を引き起こすものです。昭和47年8月以前に製造された業務用や施設用の蛍光灯などに用いられた安定器中のコンデンサの絶縁油のことです。」との答弁がなされた。

- ・ 山野委員から「ICT教育について、現在はどのように準備をしているのか教えてください。」との質疑に対し、

福原課長から「1人1台端末は既に納品されていますが、まだ授業では使われていません。先日、初期設定についての説明会を納入業者から先生方に対し開催しました。

これから、どのように授業において効果的に利用していくのかは、先生方にとって大きな課題であり、そのためにICT支援員を活用していくための予算を確保しています。」との答弁がなされた。

(意見)

- ・ 篠原委員から「1人1台端末について、住民で得意な方もいると思いますし、より多くの支援ができる方を確保し、配置したらどうでしょうか。今の状況にあっては、先生方が早いうちに、自由に使える状況を作ってあげることが必要だと思います。」との意見があった。

- ・ 中山委員から「千葉県教育委員会連絡協議会の動画配信による研修は、出かけずに見ることが出来て大変良かったと思いました。動画は巻き戻しや停止することも出来て、集中して視聴できるので非常に良かったと思います。」との意見があった。

- ④ 福原教育課長から、新型コロナウイルス感染者発生に係る経過と対応について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(意見)

- ・ 中山委員から「今回の対応等について大変だったと思います。今後、変異株が流行したり、新型コロナウイルスの対応や考え方も変わっていく可能性がありますので、ワクチンを接種するまでの間は、十分注意が必要だと思います。」との意見があった。

11 その他

- ① 石井教育総務室長から今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。
- ② 富永教育長から、5月の定例会について協議があり、5月20日木曜日の午後2時から中央公民館で開催することに決定した。

12 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年3月17日

鋸南町教育委員会 教育長 富 永 安 男

教育委員 篠 原 恭 恵

議事録作成 事 務 局 石 井 肇